

## 中期計画策定にあたって

シルバー人材センターは、人口の高齢化が進む中、高年齢者が培った知識、経験、技能を生かす場を提供して高年齢者の生きがいに役立つとともに、ボランティア活動や健康の維持などを通して医療費や介護費の軽減に貢献するなど地域社会の活性化に寄与してきました。

魚津市シルバー人材センターでは、平成 21 年度に事業指針となる期間 6 か年の中長期計画を策定し、平成 23 年の見直しを経て平成 26 年度末をもって計画期間が終了しました。この間、地域では少子高齢化、人口流出や核家族化が一層進み、シルバー人材センターを取り巻く環境は、国の補助金の大幅な削減や公益法人制度改革に伴う社団法人への移行、継続雇用制度の定着によるシルバー入会者の高年齢化など、大きく変化しました。

また、平成 26 年 9 月に新築された「魚津市高齢者いきいきセンター」の指定管理者を受託し、施設の管理運営や生活支援「お助けさん」事業など高齢者の地域ニーズに対応する新たな役割も担うことになりました。シルバー人材センターは、住民の生活支援や子育て支援、介護支援、福祉ボランティアなど地域ニーズの担い手として地域社会を支える重要な組織になることが期待されています。

このような市シルバー人材センターを取り巻く環境の変化や地域のニーズに応える事業を展開するための指針として、新たに 5 か年の中期計画を策定しました。シルバー事業の理念である「自主・自立、共働・共助」の原則に則り、この計画に沿った事業を会員・役員・事務局が一体で取組み、高年齢者の生活の充実と地域の活性化に努めてまいります。

平成 27 年 5 月

公益社団法人  
魚津市シルバー人材センター  
理事長 宮野高司

# I 計画策定の背景と目的

## (1) 計画の背景

平成 21 年度に策定した 6 年間の中長期計画期間は、平成 23 年の見直しを経て平成 26 年度をもって終了になりました。この 6 年間に於いて、少子高齢化や若年人口の流出が続き、魚津市の 65 歳以上の高齢者の割合が 30.7%（平成 26 年 10 月）となり、地域の活力低下が重要な社会的課題となっており、シルバー人材センターの役割はますます重要になります。

シルバー人材センターを取り巻く環境も変化し、会員数は定年延長制度の定着により入会する年齢が高くなる傾向等により会員数は減少傾向にあります。また、「事業仕分け」により国の補助金額が削減され、補助制度が従来の運営費補助金から高齢者を活用する事業費補助金へと大幅な枠組み変更となりました。また、平成 26 年 9 月から「魚津市高齢者いきいきセンター」の指定管理者となり、施設の管理運営とともに「地域の高齢者の生きがいをづくりの場を創出して提供する」事業に取り組む必要があります。こうした状況の変化に対応するために新たな中期計画を策定するものです。

## (2) 計画の目的

この計画は、今後の社会・経済情勢の変化を勘案し、シルバー人材センターが地域社会の中で十分な役割を果たせるように、会員の増強や就業機会の拡大、自立的な運営基盤の確立を目指して事業展開の方針を示すものです。

# II 計画の期間

計画の期間は、平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 年間とします。ただし、大幅な経済状況の変化や政策変更などがあつた場合は、見直しを行います。

### Ⅲ 基本計画

#### 1 会員数

##### (1) 現状と課題

本センターの会員数は、昭和 63 年の設立時の 273 人から増え続け平成 18 年の 525 名を頂点に減少に転じ、平成 26 年は 451 名となっています。また、平均年齢も 71 歳前後と高齢化も進んでいます。

この背景には、高年齢者雇用安定法の改正による定年延長など 60 歳後も引き続き勤務する形態が定着しつつあることや、景気停滞により収入確保のための長期就業希望者が多くなっていることが考えられます。

会員数の推移

(単位：人)

年度	魚津市人口	うち 60 歳以上人口	シルバー人材センター会員数			粗入会率
			男	女	全体	
H21	45,121	16,182	300	186	486	3.0%
H22	44,692	16,446	292	191	483	2.9%
H23	44,263	16,557	309	173	482	2.9%
H24	44,145	16,607	315	178	493	3.0%
H25	43,824	16,616	285	164	449	2.7%
H26	43,407	16,629	286	165	451	2.7%

##### (2) 会員数増加の方策

入会動機に「生きがい・社会参加」を挙げる方が約 9 割を占めるので、団塊の世代を中心に潜在的な会員希望者は多いものと思われ、新規会員の確保に努め、できるだけ長く活動できるよう支援します。

- ・シルバー事業の周知・・・広報、チラシの充実など
- ・会員による新規会員紹介キャンペーン
- ・趣味教室や女性の集いの開催
- ・入会説明会の定期的開催
- ・定着化のためのフォローアップ体制の構築

##### (3) 会員数の目標

毎年 10 名以上の会員拡大に努め、平成 31 年度に 500 人となる目標とします。

年度	目標会員数
H27	<u>460人</u>
H28	<u>470人</u>
H29	<u>480人</u>
H30	<u>490人</u>
H31	<u>500人</u>

## 2 就業率と会員の就業能力向上

### (1) 現状と課題

本センターの就業率は90%前後で推移しており、県内のほぼ平均値となっています。平成26年には93.6%となりました。しかし近年、女性や事務系職種希望者を中心に希望する職種と実際の就業先のミスマッチが目立つようになりました。このため、事務分野を中心に多様な就業先の確保と会員の就業能力向上が課題となっています。

#### 就業率の推移

年度	魚津	県平均
H21	87.7%	87.7%
H22	90.1%	88.8%
H23	88.6%	90.4%
H24	88.4%	90.1%
H25	93.3%	91.6%
H26	93.6%	—

### (2) 就業能力と就業率向上の方策

研修会・講習会を開催し就業能力を高め、新たな就業先の開拓を行い就業率の向上に努めます。

- ・ 接遇・マナー研修会
- ・ 講習会の開催・・・家事、簡単な修理、剪定・雪吊りなど
- ・ 事務系職種など新規就業先の開拓
- ・ シルバー派遣事業の活用
- ・ 未就業会員の就業希望調査

### (3) 就業率の目標

会員の希望職種を尊重するとともに適正就業基準を順守し適正・公平に就業機会を提供し、ほぼ全ての会員が就業している状態の就業率93%の維持を目指します。

## 3 就業機会の確保

### (1) 現状と課題

受注件数については順調に増加しておりますが、受注金額についてみると企業の動向や景気対策事業の影響を受けやすく、平成24年には公共機関の受注が大きく落ち込みました。その後、一般家庭からの受注を中心に持ち直しつつありますが、一般家庭や民間企業の需要を開拓する必要があります。また専門的・技術的業務の受注開拓も課題となっています。

## 受注件数の推移

年度	公共	民間	一般家庭	合計	対前年比
H21	147	721	4,886	5,754	
H22	145	788	5,066	5,999	4.3%
H23	154	844	5,210	6,208	3.5%
H24	131	846	5,374	6,351	2.3%
H25	155	926	5,643	6,724	5.9%
H26	151	847	5,502	6,500	-3.3%

## 契約金額の推移

(単位：円)

年度	公共	民間	一般家庭	合計	対前年比
H21	47,079,426	122,143,256	58,691,683	227,914,365	
H22	51,615,336	123,849,922	59,023,101	234,488,359	2.9%
H23	55,504,002	128,739,795	58,806,934	243,050,731	3.7%
H24	40,253,160	123,415,383	59,217,463	222,886,006	-8.3%
H25	41,449,568	121,044,023	62,302,546	224,796,137	0.9%
H26	45,438,433	119,621,260	57,681,792	222,741,485	-0.9%

### (2) 受注確保の方策

会員のニーズに合った就業先の確保や地域ニーズを取り入れた事業を推進することにより幅広い分野の受注を確保していきます。

- ・ホームページを活用した業務 PR
- ・企業訪問による新規就業先の開拓
- ・生活支援「お助けさん」事業の運営
- ・ボランティア活動を通じた PR
- ・福祉・家事援助サービス事業の推進

### (3) 受注件数・金額の目標

会員増加数や就業率を勘案し、毎年件数は 50 件・金額は 1.5%前後の着実な増加を目標とします。

年 度	件 数	金 額 (千円)
H 2 7	6, 5 5 0	2 2 5, 0 0 0
H 2 8	6, 6 0 0	2 2 8, 0 0 0
H 2 9	6, 6 5 0	2 3 1, 0 0 0
H 3 0	6, 7 0 0	2 3 4, 0 0 0
H 3 1	6, 7 5 0	2 3 7, 0 0 0

## 4 安全就業・適正就業

### (1) 安全就業の現状と課題

会員は、業務の遂行にあたり「安全就業」は最優先の課題であり、傷害事故や物損事故の予防に充分注意を払い作業に当たっています。しかし近年、事故の発生件数が多く、会員の安全意識向上や業種に応じたきめ細かい安全対策の取組みが必要です。

#### ①傷害保険関係

年度	作業分野				合計件数
	庭木関係	草刈・除草関係	清掃関係	その他	
H21	2	3	0	0	5
H22	3	1	2	3	9
H23	3	1	1	1	6
H24	3	2	0	2	7
H25	3	0	4	2	9
H26	5	0	2	1	7

#### ②賠償保険関係

	庭木関係	草刈・除草関係	その他	合計件数	賠償額（円）
H21	0	2	0	2	175,685
H22	0	1	1	2	29,369
H23	0	2	0	2	34,653
H24	0	5	0	5	445,825
H25	0	3	0	3	364,663
H26	1	5	1	7	755,507

### (2) 事故発生ゼロを目指す方策

会員の安全意識向上をはじめとして、事故を予防する体制を整え会員・役員・事務局が連携して事故の撲滅に努めます。

- ・業種別の研修会・講習会を開催
- ・作業現場の安全パトロール強化
- ・チェックシート活用による現場打ち合わせの徹底
- ・交通安全・接遇マナー向上の講習会開催
- ・会員の健康状態の把握・・・健康チェックシートの導入

### (3) 適正就業対策

シルバー就業の原則「臨時的かつ短期的な就業または軽易な業務」を守り、会員に能力と希望に応じて平等に仕事を配分します。また、偽装請負と疑われるものや長期就業等の不適切な就業形態がないか既存の業務契約を見直すとともに、新規契約締結時に法令順守（コンプライアンス）を徹底します。

## 5 財政基盤の強化

### (1) 現状と課題

シルバー人材センターの運営に係る財政運営は、発注者からの「事務費」、国及び地方公共団体からの「補助金」、会員からの「会費」を主な財源としています。「補助金」は国の補助金が削減され、運営費補助金から事業活動補助金へと重点が移っており、自立的な運営ができるよう財政基盤の強化が課題となっています。

財政運営状況

(単位：円)

年度	総収入額 (A)	総支出額 (B)	収支 (A) - (B)
H21	258,694,256	256,806,566	1,887,690
H22	252,947,750	244,556,860	8,390,890
H23	259,943,470	258,086,654	1,856,816
H24	240,661,289	242,372,236	△ 1,710,947
H25	244,141,871	242,270,948	1,870,923
H26	244,745,176	245,676,293	△931,117

### (2) 財政基盤強化の方策

事務局の効率的な運営に努めるとともに、自立的運営を目指し財政基盤強化に努めます。

- ・ 運営経費の節減

  - 近隣センター間で受注の広域化や共同処理導入を検討

- ・ 事務費率の改定検討

  - 安定的経営を維持するための事務費率を検討

- ・ 配分金単価の適正化

  - 近隣センターとの均衡化と経済動向に準じた改定

- ・ 独自事業の取組み推進

  - 生活支援「お助けさん」事業や市民農園「魚津市いきいき農園」事業推進

## 6 組織の充実強化

### (1) 理事会・専門委員会の活性化

センターの事業運営を効果的に推進するため、「事業運営委員会」「業務委員会」「広報委員会」「安全・適正就業委員会」の4つ委員会が設置されています。各委員会運営にあたっては、担当理事を中心に会員の意向が反映するよう活性化を図ります。また、地域の会員同士の連携を強めるため地域連絡会を活性化して、地域連絡会が生活支援「お助けさん」事業の受け皿となり地域住民との結びつきを深めます。

### (2) 事務局体制の充実

事務部門を管轄する事務局は、理事会や専門委員会が進める事業運営を円滑化・活性化するための組織であり、実務処理能力によりセンター運営に大きな影響があります。常に職員の資質向上や事務効率改善に努めます。

- ・各種講習会の受講・・・職業紹介責任者講習・派遣元責任者講習など
- ・先進地視察・・・優良事例の導入調査
- ・近隣センターとの情報交換・事務共同化の検討

### (3) 「魚津市高齢者いきいきセンター」の運営

平成26年9月から「魚津市高齢者いきいきセンター」の指定管理者を受託し、これまでの「就業を通じた高齢者の健康と生きがい対策」に加えて、「地域の高齢者の生きがいづくりの場を創出して提供し、豊かな長寿社会の実現に寄与する」活動が求められています。魚津市や魚津市老人クラブ連合会、魚津市社会福祉協議会などと連携し、様々な新たな事業にも取組み地域の活性化に貢献します。

- ・地域活動への貢献・・・各種講座や講演会の開催
- ・生活支援「お助けさん」事業の推進
- ・介護・子育て支援など福祉的分野事業の実施検討
- ・地域ボランティア活動の拡大

## 修正事項

平成30年7月12日 理事会 第11号議案

Ⅲ基本計画、1 会員数、(3) 会員数の目標 について数値を修正